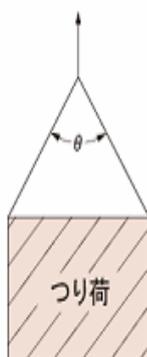


玉掛索(ロープスリング)の取扱について

⚠ 取扱上の注意

ご使用の前にこの取扱説明を必ずお読みいただき、内容をよくご理解いただいた上で玉掛索をご使用下さい。

- 玉掛索は使用荷重、つり本数、つり角度及びつり方を考慮して安全率(安全係数)が6以上確保できるよう(クレーン等安全規則で決められている)選定してください。安全率が不足していると、急激な衝撃荷重や損傷劣化などにより破断する恐れがあります。
- つり角度はできるだけ60°以内にして下さい。つり角度が大きくなると玉掛索に大きな張力がかかり、危険です。



●2本吊りの場合

つり角度(θ)	0°	30°	60°
1本のロープにかかる張力 (使用荷重に対する倍率)0.5	0.5	0.52	0.58

- フック部などでロープを小さく曲げると強度が低下します。大きくできない場合は、低下率を考慮して玉掛索を選定して下さい。



●6×24の場合

ロープ径に対する曲げの大きさ(直径)	1倍	5倍	10倍	20倍
強度低下率	50%	30%	25%	10%

- 台付索は玉掛作業には使用しないで下さい。台付索には加工方法の規定がなく、玉掛作業に使用すると抜ける恐れがあります。
- 玉掛索は1本吊りでは使用しないで下さい。つり荷が回転したり、加工部(特に巻差しの場合)が抜けたりして危険です。
- 玉掛作業は、労働安全衛生法に定められた有資格者が行って下さい。つり荷の重心判断やつり方を誤ると、大事故になる恐れがあります。
- ロープのねじれや曲がりが発生したら、修正しキंकさせないようにして下さい。
- 玉掛索は消耗品です。廃棄基準を超えたものは絶対しようしないで下さい。強度が著しく低下しているので大変危険です。

- JIS B8817ワイヤロープスリングの点検、破棄基準は下表のとおりです。

点検項目	点検の種類		点検方法	廃棄基準
	日常	定期		
1、断線	○	○	目視	索線がロープよりの間において最外层ストランド中の総索線数の10%以上断線しているもの、又はロープ5より間において20%以上断線しているもの。
2、摩擦	○	○	計測	摩擦によって直径の減少が公称径の7%を超えるもの。
3、腐食	○	○	目視	腐食によって索線表面にピッチングが発生して、あばた状になったもの。 内部腐食によって索線が緩んだもの。
4、形くずれ	○	○	目視	形くずれによってキンク及び著しい偏平化、曲がり、かご状などの欠陥が生じたもの。
5、電弧又は熱影響	○	○	目視	テンパーカラー又は溶損の認められるもの。
6、塗油の状態	○	○	目視	
7、アイ部、圧縮止め部	○	○	目視	亀裂、変形、ロープのずれ、又は著しい傷などが発生しているもの。

- 玉掛索の使用に際しては、製品ラベル等によりロープ構成、ロープ径、破断荷重又は、種別を確認して下さい。間違った玉掛索を使用すると、強度不足等により事故発生の恐れがあります。
- 酸やアルカリの腐食雰囲気や100℃を超える高温雰囲気では使用しないで下さい。腐食、熱影響等により、強度が低下し、危険です。
- 急激な衝撃荷重がかからないようにして下さい。
- 玉掛索を鋭い角で曲げないよう、必要な場合は当て物をして下さい。
- 玉掛索は消耗品です。必ず保守及び日常点検、定期点検を実施、損傷の程度を常に把握して使用して下さい。
- 玉掛索は電気溶接作業等でスパークさせないで下さい。強度が低下し危険です。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
 〒550-0013 大阪市西区新町1丁目34番15号
 E-mail: techno.center@trusco.co.jp
 お客様相談室  **0120-509-849**
<http://www.orange-book.com/>